

広報

ただみ

8
2009 月号
No. 471
平成21年8月10日



今月の表紙

只見・朝日・明和保育所の年長組児童が、町制施行50周年記念式典で50歳を迎えた只見町へ、将来への希望も込められたメッセージを贈りました。この後、児童は只見音頭にあわせ元気いっぱいの踊りを披露しました。

祝・町制施行50周年

～只見町50歳の誕生日を祝う～ …… 2～3

只見町表彰式 表彰受賞者 他 …… 4～7

町制施行50周年記念事業「只見町子ども議会」
…………… 8～10

江戸川区立上一色中学校・林間学校 他 …… 11～13

町の話 …… 14～15



町制施行 50周年

～只見町50歳の誕生日を祝う～

8月1日、季の郷「湯ら里」において町制施行50周年を祝う記念式典と、併せて只見町表彰式・公共施設落成式及び祝賀会が行われ、只見町50歳の誕生日を祝いました。

只見町は、昭和30年に只見村と明和村が合併し只見村に、さらに昭和34年に朝日村が合併、8月1日に町制を施行しました。以来五十年、幾多の困難を乗り越え、豊かで住みよい只見町を築くため町民全員が汗を流し、堂々と今日の只見町を築き上げました。

8月1日の記念日を期に、さらに新たな希望の時代へと、全町民一丸となつて歩み続けて参りましょう。



第1部・記念式典

式典は、これまで町政の発展に尽くされた町民の皆様に感謝申し上げ、本町の歴史と文化そして現在まで育まれてきた大切

なものを次世代へと引き継ぐ機会とし、新たな只見町の発展と活性化を目指し行われました。はじめに、目黒町長が式辞を述べ、続いて齋藤町議会議長の

あいさつがあり、次に佐藤雄平福島県知事、渡部恒三前衆議院議員、渡部篤前衆議院議員、渡部勝博福島県議会議員、南会津地方町村会代表湯田雄二下郷町長より来賓祝辞をいただきました。また、式典では只見町公認自然インストラクター「ただみ・自然案内人」認定証の授与式も行われ、2年間の講習を受けられ審査会を経て合格された13名に認定証が授与されました。インストラクターの方々は今後、町のブナを中心に自然や文化を分かりやすく多くの皆さんに伝えるため自然案内人として活動いただきます。

最後に、町の将来を担う保育所年長児37名によるお祝いメッセージ「大好き！只見町」が贈られ、只見音頭に合わせたの踊りが披露されると、会場は和やかな雰囲気になれ式典は終了しました。

第2部・表彰式

記念式典に引き続き、只見町表彰式・公共施設落成式が行われ、只見町表彰条例に基づき49組53名の方が表彰を受けました。また、公共施設落成感謝状が工事関係者に贈られました。

表彰は特別功労表彰から順に功労表彰、顕彰、善行表彰、永年勤続表彰、感謝状と行われ、続いて公共施設の落成に尽力された工事関係者に感謝状が贈られ、最後に受賞者を代表され特別功労表彰受賞者の小沼昇さんがあいさつをされました。受賞者は別表に記載の方々です。

第3部・祝賀会

記念式典終了後、只見町の町制施行50周年及び表彰の受賞者、公共施設の落成を祝い、祝賀会が開かれました。

開会の後、目黒町長が主催者を代表しあいさつしました。続いて特別功労者、元町長の飯塚岩夫さんが音頭を取り乾杯、アトラクションでは、コーラス・はなみずき、瞳の会、はぎの会、つくし会の皆さんによる歌と日本舞踊が披露され、華を添えました。

結びに特別功労者、元町長の渡部完爾さんの音頭で万歳三唱が行われ只見町の将来の発展を祈念し閉会となりました。



▲特別功労表彰受賞者「小沼昇さん」



▲元気に只見音頭を踊る年長児



▲祝賀会でのアトラクション



▲「ただみ・自然案内人」の認定証授与式

「つなごう 心の灯」

—つなげよう 伝え合おう地域と地域—

8月1日が只見町の50歳の誕生日。この特別な記念日には最古の通信手段とも言える「のろし」と「信号弾花火」が只見・朝日・明和の三地区で上げられ改めて合併し誕生した只見町に思いを馳せてみるイベントや、町全体をキャンドルの灯でつなげるキャンドルナイトも町民の皆様のご協力により行われ、家々の玄関前にはキャンドルのほのかな灯りが揺らいでいました。



▲キャンドルを見つめ50周年を祝う



▲只見地区での「のろし」



式辞を述べる目黒町長

式辞

本日ここに福島県知事様はじめ、ご来賓多数のご臨席を賜り、当町の町制施行五十周年記念式典並びに表彰式・公共施設落成式を開催できます事は、町民共々誠に喜びに堪えないところであります。

ご来賓各位にはご多忙の中、ご足労いただき厚く御礼申し上げます。また、本日表彰を受けられます皆様には、これまでの活躍に対し、深く感謝を申し上げますとともに、心からお祝いを申し上げます。

顧みますと、五十年前の昭和三十四年八月一日、只見村と朝日村が幾多の困難を乗り越え合併に至り、私たちのまち只見町が誕生しました。ここに、記念すべき五十周年を迎

えることができましたことを、町民の皆様とともに心から喜びを分かち合いたいと思います。

昭和三十四年と言えば、日本の経済成長の礎ともなった田子倉発電所が営業発電を開始した年であり、只見町が電力の町として大きく変化していく契機となった年であります。その後昭和四十年代に入り日本の高度経済成長期の中、先人達の悲願であつた小出く只見間の只見線開通、時間じくして六十里越の開通実現、治山・治水事業の普及や農業構造改善事業による社会基盤の整備、産業経済の発展など、この間に幾度かの大きな災害に遭遇しながらも、それら乗り越えて只見町は各方面において着実な歩みを続けてまいりました。

本町が様々な困難を乗り越え、今日のように日々伸展を続けることのできましたのも、ひとえに国及び県当局をはじめ、関係各方面の力強いご支援とご協力によるものであり、家族や地域のためを思つて懸命に働いた父母や祖父母のためめ努力、そして郷土発展のためにご精励くださいました町議会議員諸兄並びに町民各位のご努力の賜物であります。この機会に皆様方のご労苦に対し心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

本日行ないます町表彰も長年にわたり町政の振興にご尽力賜りました方々に対する町民一同の感謝の表明

であります。

この良き日を契機として、次の世代を担う子どもたちのためにも、更に只見町を住みよい町にしていかなければなりません。

バブル経済と言われた好景気が去り、社会情勢は一段と厳しさを増しています。このような状況の中、只見町が自立し町民の一人ひとりがこの地に生まれてよかつたと思えるような地域を作つていくためには、これからはもつともつと自然、そして人との結びつき、農的な暮らしのありようを模索する事が大切だと考えます。

第六次振興計画にある「ブナと生きるまち 雪と暮らすまち」の理念のもと、自然・歴史・文化・暮らし・産業など、地域の資源を大切に受け継ぎながら地域としての価値観を築き、産業を興し、交流を育む活力に満ちた町づくりをめざし最善の努力をいたしてまいります。

終わりに、これまで本町発展のために、たゆまざるご支援、ご援助を賜りました国、県の関係機関並びに多くの関係者に対し厚く御礼申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導、ご援助を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

平成二十一年八月一日

只見町長 目黒 吉久

受 賞 者

特別功勞表彰

(順不同、敬称略)

被 表 彰 者	表 彰 事 績
小 沼 昇	収入役、町長として町政の振興発展と地方自治の伸展に貢献(町長12年)
菅 家 俊 一	議会議員として町政の振興発展と地方自治の伸展に貢献(議会議員16年)
松 井 榮 吉	教育長として町の教育文化の振興発展に貢献
吉 田 善 一 郎	農業委員並びに、選挙管理委員として農業の振興発展と地方自治の伸展に貢献
馬 場 和 正	農業委員として農業の振興発展に貢献(農業委員20年)

功労表彰

(順不同、敬称略)

被表彰者	表彰事績
五十嵐 津	議会議員・町課長職・消防団員として町政の振興発展と住民福祉の向上に貢献
五十嵐 修	消防団員として自治体消防に貢献(25年2月)
三瓶 一也	消防団員として自治体消防に貢献(25年2月)
梁取 克昌	消防団員として自治体消防に貢献(25年2月)
管家 英祐	消防団員として自治体消防に貢献(25年2月)
五十嵐 良平	消防団員として自治体消防に貢献(25年2月)
鈴木 良三郎	滝・田子倉湖船舶安全管理協議会会長として、船舶の安全航行と事故防止に貢献

顕彰

(順不同、敬称略)

被表彰者	表彰事績
小沼 昇	「自然首都・只見」応援基金に寄付
赤塚 哲郎	統計調査員として正確な統計業務に貢献(18年2月)
五十嵐 義助	統計調査員として正確な統計業務に貢献(15年)
五十嵐 友衛	塩沢第一納税貯蓄組合長として町政の向上発展に貢献(17年2月)
飯塚 伸一	体育指導委員として社会体育の向上発展に貢献(16年)
吉津 健	体育指導委員として社会体育の向上発展に貢献(16年)
新国 宏明	体育指導委員として社会体育の向上発展に貢献(16年)
鈴木 好行	体育指導委員として社会体育の向上発展に貢献(16年)
堀 金保男	町内文化財の保護・調査活動に貢献(16年)
星 美彌子	町内文化財の保護・調査活動に貢献(22年)
乗原 秀樹	ふるさと大使として、ふるさと交流都市「千葉県柏市」との交流促進に尽力

東邦銀行から

「自然首都・只見応援基金」にご寄付いただきました

株式会社東邦銀行(頭取 北村清士氏)では、森林、湖、公園など自然環境の保全活動に役立てていただきたいとの趣旨で、「東邦エコ定期預金」を創設され、その一定額を「自然首都・只見応援基金」ほか2団体に寄付されました。

贈呈式は、6月29日に福島市の東邦銀行本店において北村頭取から只見町(渡部総括参事)に目録が手渡され、町でも、そのご厚意に敬意と感謝の意を表すため、その席上町長感謝状を贈呈いたしました。

なお、今回は67万円をご寄付いただきました。有効に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

善行表彰

(順不同、敬称略)

被表彰者	表彰事績
西川 成美	「自然首都・只見」応援基金に寄付
菊地 正昭	教育振興のため寄付
新井 政好	教育振興のため寄付
船木 フヂ子	家庭内介護
藤田 弘・節子	家庭内介護
小沼 晶子	家庭内介護
本名 ムツ	家庭内介護
五十嵐 剛	家庭内介護
五十嵐 揚一	家庭内介護
鈴木 京一・アヤ	家庭内介護
堀 金 千恵子	家庭内介護
渡部啓也・アヤ子	家庭内介護
平山 久美子	家庭内介護
角田 岑子	家庭内介護
馬場奎一・ユキノ	家庭内介護
吉田 六郎	河川公園に花を植栽管理し環境美化に貢献
目黒 基	県道の路肩、河川法面の草刈りを実施し環境保全に貢献
菅家 吉次	集落内に桜苗を植栽管理し環境美化に貢献
梁取 洋一	献血協力30回以上



入賞者の上野さん(右)と渡部さん(左)

優秀賞
「ブナの町 只見案内人」
渡部安菜さん(福井)

最優秀賞
「只見町自然案内人」
上野 忍さん(入叶津)

愛称にご応募いただいた中から、次の作品が入賞しました。表彰式は7月28日に役場本庁で行われ入賞者には副賞として10月3日オープン予定の「ブナと川のミュージアム」で利用できる券が贈られました。

只見町公認
自然インストラクターの愛称が
『ただみ・
自然案内人』
に決定!

永年勤続表彰

(順不同、敬称略)

被表彰者	表彰事績
三瓶良一	議会議員 32年
船木弘輝	消防団員 31年2月
本名誠	消防団員 31年2月
山内一豊	消防団員 31年2月
五十嵐一也	消防団員 31年2月
管家和人	消防団員 31年2月

感謝状

(順不同、敬称略)

被表彰者	表彰事績
角田勝昭	町道路肩に花を植栽管理し環境美化に貢献

○只見町公認自然インストラクター「ただみ・自然案内人」 認定者

(順不同、敬称略)

氏名	氏名	氏名
古川勝久	渡部和子	船木孝行
鈴木章一	佐藤弘	角田朋之
山内明生	鈴木嘉津雄	梁取一樹
山岸國夫	熊倉彰	/
目黒淳一	熊倉恵子	

公共施設落成 工事関係者感謝状贈呈者

只見町立明和小学校

■ 施工者

○建築・機械設備工事

大正・南会西部特定建設工事共同企業体

大正工業株式会社 代表取締役 三瓶 吉夫

○電気設備工事

株式会社 大竹電気工事店

代表取締役 大竹 雄一

■ 概要

1. 位 置 南会津郡只見町大字小林字上照岡1336
2. 事業主体 只見町
3. 建設年度 平成20年度
4. 事業費 649,379千円
5. 施設概要 鉄筋コンクリート造2階建
 建築面積 1,559㎡
 延床面積 3,338㎡



町制施行 50周年記念

只見町子ども議会

7月15日、只見町役場議場において子ども議会が行われました。会議は町議会の一般質問と同方式で運営され、子ども議員として各小学校から6年生が3名、中学校から3年生が4名の全13名が出席しました。町当局も目黒町長はじめ町議会同様に関係者が出席しました。議会議長は只見中学校の三瓶志門さんが務めました。子ども議員12名の一般質問は次のとおりです。

問（1番 吉津千晶さん）

①ブナのことについて学ぶ施設やイベントがもっとあればよいと思うのですが、何か計画はありませんか。それを元に観光客を増やし、只見町のよさを町外の人にも分かってもらうきっかけにもなると思います。町長の考えをお聞かせ下さい。

②若者が只見町に残れる工夫としては。例えば、工場をもつとよんだり、お店をたくさん建てるなど、町長の考えをお聞かせ下さい。

答（目黒町長）

①好きな時にブナについて学べるように、今年の10月3日に「ブナと川のミュージアム」がオープンいたします。ぜひ見に来てください。ブナの木とそれを取りまく只見町の自然について展示しますので、館内を歩いてたくさんのお話を勉強してもらったり、もつとくわしく知りたいと思つたことが調べたりできるように資料室も準備いたします。

②一番大きな理由は働くところがないことだと思つております。もつと他に町内に来てくれる企業がないか探したり、お願ひしたりしています。生まれ育つた土地で働いて、お父さんやお母さんと一緒に暮らせるように、働く場所が出来るように力を入れていきたいと思つております。

また、町内に元々ある資源を有効活用して、生活していけるような仕組みづくりにも、力を入れていきたいと思つております。

問（2番 大竹羽未さん）

①各地区にいつでも使える楽しい施設があれば、子ども達が集まり、楽しい時間を過ごせると思ひますが、考えをお聞かせ下さい。

②町には国道289号線が通つていますが、車での移動にとつても時間がかかります。ぜひ只見町に高速道路を造つてほしいと思ひますが、考えをお聞かせ下さい。

答（目黒町長）

①「地区センター」になります。積極的に出かけて欲しいと思ひます。図書室もあります。地区センターに「こんなものがあつたら、こんなことができたらいいな」と思ふものがあつたら、職員の方に言つてください。

②色々な問題で只見町に高速道路を造る事は難しい事ですが、安全に通行できるように観光客も安心して訪れることが出来るよう国道289号線の改良工事に努力していきます。

問（3番 須佐萌さん）

①下福井地区や長浜、荒島地区に対して、スクールバスを年間

を通して運行してもらえないか。予算の問題もあると思うので、有料でも構わないと思つていま

す。考えを教えてください。

②只見のブナは世界遺産である白神山地よりも広大、このブナ

林を守りつつ観光資源として活用できないかと考え、まずは姉妹都市である千葉県柏市からも観光客をよぶために、PR活動をすべきと思つています。計画はあるのでしょうか。

答（目黒町長）

①スクールバスの利用ができるのは通学距離が小学校で2km以上、中学校で3km以上の児童生徒です。バスの台数と運転手の人数を考慮し運行方法を考えています。しかし児童生徒の運動不足が指摘されています。徒歩通学を通じて、歩く事の大切さも学んで頂ければと思ひます。

②只見のブナの素晴らしさは、国内最大規模の8万3千haが森林生態系保護地域として指定、その内4万haが只見町分です。比較的簡単に行ける只見のブナ散策マップを作成し、皆さんの学習活動でも行けるように整備をしております。ブナ林に入る心構えは、自然インストラクターの案内で入るように、ブナセンターでは考えております。自然保護と交流や活性化は、調和を保ちながら行うよう配慮して

進めて参ります。

問（4番 吉津愛さん）

①町を県内や全国の人に知ってもらうために、大きなシンボルを作つてほしいと思ひます。町で自慢できるものには、ブナ林や雪などがあります。それらを生かしたシンボルを作れば、有名になり観光客が訪れると思ひますが、お考えをお聞かせ下さい。

②町でも高齢化が進み、老人の数が増えています。そのため、老人ホームを増やす必要があると思ひます。老人の知識は、町の発展にも役立てることが出来ると思ひます。お考えをお聞かせ下さい。

③朝、昼、夕方の音楽は、決まってきた音楽のように聞こえます。他に町にあつた音楽に変えてはどうでしょうか。

答（目黒町長）

①「ブナ」や「雪」は只見町のイメージをわかりやすく表すものです。雪の町の雰囲気を感じることができ観光客の増加に役立つのではないかと感じますので、考えてみたいと思ひます。

②今、高齢者施設などの施設介護から地域、家庭で支えていくという社会の流れになっていきます。高齢者の方々の知識と経験は大切な財産であると思ひま

す。地域において高齢者の方々の支援や生きがいづくりを進めていくためには、私たちみんなが家庭、地域においてお年寄りを大切に、それぞれ役割を担って共に支えあつていけるように心がけることが大事と考えます。

③朝と昼と夕方の決まった時間に音楽を流しています。これは、災害が発生したいざと言う時に音が聞こえるか確認するため毎日流しています。子どもの声とか、町の歌にすれば、興味を持つていただくことができます。良いアイディアだと思います。意見を聞いて考えてみたいと思います。

問 (5番 目黒大成さん)
小学生だけで川遊びに出かけたりにすることは出来ません。釣りをしても全然釣れないし、魚の数が少ないような気がします。川の魚を増やしたり、小学生だけで自由に行つて川遊びや魚釣りを思う存分楽しめる場所を町内に作つてもらえませんか。

答 (目黒町長)
元に戻るように、魚がすみやすいような方法で、河川の改修を行なつたり、外来魚や有害となる鳥類の駆除を実施しています。魚の数が増えるところまではいつていません。これから

粘り強く続けていきたいと思ひます。危険性が少なく子どもだけでも遊べる環境で、自然環境にもやさしい川を造ることができないか、考えていきたいと思ひます。みなさんが、自然に親しんで、遊べる場所も、最優先的に考えていかなければならぬと思つております。

問 (6番 柳下朝実さん)
①町は65才以上のお年寄りの方の生活をどのように考えていますか？また、家をバリアフリーにするとき町から補助金が出るのでしょうか？
②勉強をする施設を兼ねた図書館があれば学力向上に役立つと思ひます。高校生などと教え合うことによつて、縦の繋がりも強くなり、町に愛着も深まると思ひます。考えを教えてください。

③町には街燈が少ないと思ひます。特に、夜遅く自転車や下校している時に怖い思いをした事が何度かあります。考えを聞かせてください。

答 (目黒町長)
①お年寄りでも働ける仕事場作りや、冬でも安心して生活できる除雪体制の整備に努めています。家のバリアフリーは、国県や町からの助成の制度があります。

②学校図書の実践のため予算を配分し、新しい図書を揃えていますので、積極的に利用していただきたいと思ひます。施設の整備、図書の購入には多額の費用と時間がかかりますので、計画を立て取り組んで行きたいと思ひます。

③町は今年、8箇所設置を考えております。今後も地域の要望に応じ、計画的に設置していきたいと考えております。

問 (7番 馬場千歳さん)
①町の活性化のためにも、教育のための費用削減を見直すのはどうでしょうか？
②町は、学力向上のために何か考えたり、これからやろうと思つたりすることはありますか？
③只見の豊かな水を利用して小型水力発電を作り、ほりっこ発電としてそれを望む家庭に助成金を出し、只見をCO2削減の町として全国に発信するのはいかがでしょうか。考えをお聞かせください。

答 (目黒町長)
①町では「只見町行財政改革プログラム」という計画を作つて、限られたお金を町民の皆さんの為に有効に使うように努力しております。教育費についても金額の大きさだけにとらわれないお金の活かし方を考えていき

いと考えています。皆さんも、物を大事にして節約に努め、既にある物を大切にすることを改めて考えてみてください。

②最終的には児童生徒の皆さんの自覚であり、学校での勉強だけでなく家庭での努力が重要なことと思ひます。日々の積み重ねが、やがて大輪の花を咲かせるように取り組んで頂きたいと思ひます。

③小型水力発電については、実用化にあつてはメリット、デメリットもあると予想されますが、水の郷只見として考えてみなければならぬ事と思ひます。若い世代の方々とともに取り組んでまいりたいと思ひます。

問 (8番 本名奈菜さん)
①私の家の裏山には粗大ゴミがたくさん捨ててあります。町では、今後それについて対策などが出されるのでしょうか。対策は現在行なわれているのでしょうか。

②水の郷只見町、ブナの森が有名な町、と言いつながら、それを強調できていないと思ひます。噴水やいろいろな木を使った芸術的なものを作つてみたらどうでしょうか？
③空き家がとも増えたような気がします。町からもつと声を掛ければ、少なくなるのではな

いでしようか。
答 (目黒町長)
①ゴミを捨てる事は、法律で禁止されています。粗大ゴミを発見した場合は、持ち主が分かれば本人に片付けてもらい、持ち主が不明な時は、町で処分しなければいけないと思ひます。ゴミを捨ててはいけません、ということが一人ひとりが認識することが一番大切だと思ひます。

②平成19年7月27日に自然首都「只見」を宣言して、只見の自然の素晴らしさを世界へ発信しました。また、世界ブナサミットを開催、全国に、世界にも只見のブナを発信した所です。芸術的なものや世界へ発信できる情報など、柔軟な発想で地域づくりを進める体制を整備しております。ここを訪れる人にとつて、健康を実感していただけるおもてなしが出来る地域にすることが大切と思つております。色々な方々の提案を聞き取つていきたいと思ひます。

③町でも対策を講じる為に「空き家実態調査」を行いました。近年、都市部から田舎で暮らしたいという方々が見えます。この橋渡しとして住居や農地の対策などを町が応援する体制を取つております。今後空き家も地域資源として捉えて、活用できることを取り組んでいき

たいと思っております。

問(9番 菅家いつみさん)

①2年前に中学校が統合したのですが、なぜ統合したのでか。そして小学校の統合の予定は今のところないのでしょうか。小学校は統合しないほうがいいと思います。理由は朝日小以外の2校は校舎が建ったばかりで、新しく、数十年は使えると思うからです。2つ目は通学や人間関係の問題です。中学校では遠い人で30分位の時間がかかっている。また、3つの小学校があるほうが、深い友達関係が築けて大人になれると思うからです。考えをお聞かせください。

②八十里越の道路はいつ開通するのでしょくか？早く道路を作るとは只見町の活性化にもつながると思います。考えをお聞かせください。

答(目黒町長)

①生徒数が減少傾向にあること。統合により学級数が増加すると教員数が増え、専門的な指導が受けられ学力向上が期待できること。部活動においても部の種類が多くなり、運動部だけでなく文化部などもできました。町内三地区から生徒が集まり、幅広い人間関係が確立され生徒の活発化に繋がってきました。学校も一校となったことで、維持

管理費が軽減町の財政負担も軽減されました。このようなことで統合されました。小学校の統合は考えておりません。

②完成時期は、まだはつきりと決まっています。少なくとも10年以上はかかると思われると思います。町では、道路工事を行なっている国の機関へ、早期開通の働きかけを行なってきました、これからも取り組んで参りたいと考えております。

問(10番 三瓶梨菜さん)

①町には土、日ゆつくりと過ごすための大きな公園がないと思います。アスレチックや噴水のある公園ができれば、多くの人が集まり、楽しく休みを過ごせると思うので、作ってほしいのですが考えをお聞かせ下さい。

②町全体できれいな町づくり・自然にやさしい町づくりをするために、ゴミを減らすための運動が必要だと思います。考えをお聞かせ下さい。

答(目黒町長)

①各集落に公園がありますが、大きな公園ではありません。只見川公園の町下地内には、「只見川公園」があります。10月から「川

のもののしり館」は、「ブナと川のミュージアム」としてリニューアルいたします。完成したら友達と見に来てください。

②ゴミを減らす運動として、地区センターでは住民の皆さんに呼びかけて「ちょボラ運動」でゴミを拾ったり、婦人会では、ごみを出さない工夫や再利用することを勉強しておられます。また、3R運動を進めています。これは「リデュース(減らす)、リユース(再び使う)、リサイクル(再資源化)」という意味です。一人一人が気をつけて、きれいな町づくりをしていきたいと思っています。

③公共施設にスロープや自動ドア、トイレ改修などバリアフリー化を進めてきました。また、県が行う歩道工事等も出来るだけフラット化しております。これからもバリアフリー化に努力していきます。

問(11番 春日七海さん)

①子供達が安全に楽しく遊べる場所に遊具を増やしてください。

②土地を安く売るのでお店を開きませんかという働きかけをして、お店を誘致するような考えや、町内にあるお店などにみんなが必要とするような物をおいたりするなどの考えはありませんか。

答(目黒町長)

①町の自然に触れ合うような遊び方もいっぱいあると思います。自分たちの中から見出して欲しいと思います。遊具の整備には時間とお金が掛かりますので、実態を調査し必要があればと思っております。

②大型店などが地域に入ってくるには立地条件を考えなければなりません。ある一定の「消費人口」がないと商店の立地経営が成り立ちません。町の置かれている条件を改善することが、より良いふるさとづくりになると思います。国道改良や交流人口の拡大、資源を生かした産業おこしなど、地域の伝統を生かしてこそ町は発展すると思えます。

問(12番 新國優さん)

①各家庭でのゴミ燃やしは許可されていないという話を聞いたことがあります。だめなはずなのにやっている人がいると、困る人が出てくると思います。各家庭でのゴミ燃やしは今後も認めるのですか？具体的な取り組みを教えてください。

②捨てられているゴミを見ると残念な気持ちになります。そのようなゴミをなくすことについての今後の対策、取り組みについて聞かせてください。

答(目黒町長)

①ゴミを捨てることと燃やすことも禁止されています。一部にそのようなことがあることは、大変残念なことです。これから、きちんと分別して出してもらおうよう、広報したり、お願いしていきたいと思えます。

②ポイ捨てやゴミを減らす事はきれいな町づくりをするために欠かせない事です。皆さんに気を付けてもらえるように運動していきたいと思えます。(※再質問と答弁は省略)





東京の中学生が只見で農業体験
江戸川区立上二色中学校・林間学校

◀只見の自然に大感動「農業って楽しい！」

東京都江戸川区立「上一色中学校」の2年生142名が林間学校の一環で7月30〜31日の1泊2日、只見町内の42軒の受け入れ農家に滞在し、農村の生活を体験しました。生徒は開村式で農家の人と顔合わせをした後、3から5名に別れ各農家に宿泊、ジャガイモ掘りやトマト収穫、ささまき作りなど農家ごとに色々な農業を体験しました。長靴を履いて畑に入りジャガイモ掘りを始めると、バツバヤ

てんとう虫、ミミズなどに驚き思わず逃げてしまう様子も見られました。すぐに作業に慣れ一生懸命ジャガイモを収穫していました。ささまき作りでは、初めての作業に戸惑いながらも農家の方に教えられながら、器用に作り上げていました。夕食には、採れたての夏野菜が入ったカレーを食べたり、バーベキューで空腹を満たしました。夜は、花火をしたり散歩を楽しんだりして過ごしました。

閉村式では生徒代表のあいさつがあり「東京では味わうことのない貴重な体験ができました。楽しかったです。温かく迎え入れていただき、ありがとうございます」と話しました。最後にお世話になった農家の方と握手を交わしたり抱き合ったり、中には涙を流し別れを惜しむ生徒も見られ、農家の方とふれあえた最高の思い出をお土産に見え後にしました。

農村体験はどうでしたか？感想を：

- トマトがおいしかった！
- とうもろこしが甘くてびっくりした！
- バーベキューもお餅も冷し中華もおいしかった！
- 畑に大きなミミズがいて楽しかった！
- 田子倉ダムがとてもきれいで静かで、あっと見ていたかった！

From 2年4組 森 ななかさん



- 虫がたくさんいて、中でもムカデは初めて見ました。
- どこを見ても辺りは山や森林でした。
- 本当に農家に来て良かったと思えます。忘れられない2日間になりました。とても楽しかったです。また、只見町に遊びに来たいと思えます。

From 2年4組 城和 彩菜さん



- くるみ割を初めてやった。
- マロンを初めて食べた。おいしかった。
- 農家の方や近所の方々があひく優しく、この農家に来て良かったと思えました。短い間だったけど、あひく楽しかったです。只見町にまた来たいな～と思えました。

From 2年4組 道政亜優美さん



火災・非常時には協力し消防力を強化!

「只見町・金山町・昭和村」 消防相互応援協定打合せ会議

災害地における人的、物的被害を最小限度に防圧し治安維持に努めることを目的とし、只見・金山・昭和の3町村で平成12年5月に結ばれた消防相互応援協定に基づく会議が、7月23日に只見町で開かれ、各町村の消防団長はじめ消防団幹部や関係者15名が出席しました。

最初に馬場光男只見町消防団長のあいさつがあり、続いて目黒只見町長が「消防団各位には町民の安全を守るという崇高な任務にあたっていただいています。この会議により町村間の応援体制強化がさらに充実することを期待します」とあいさつをしました。

次に各組織の幹部や担当者の紹介があり、協議では各町村の災害発生状況、消防力（団員数や設備規模など）、予算、施設整備予定などについて意見が交わされました。特に消防行政の課題では各町村とも団員数

の減少があげられる中、昭和村は退団した元消防団員を機能別団員として再確保する制度を導入し解消を図るなどの説明がありました。

今後、定期的に会議を開催し応援体制の共通認識を図り、迅速な対応に努めることを確認し会議を終了しました。



▲ あいさつをする目黒町長

集落を見直し課題解決へ…

3地区センターで集落点検実施

各地区センターでは、全集落を対象に集落点検を行っています。この活動は、集落が持つ総合的な力「集落力」を様々な観点から点検し集落の価値を見直しながら、具体的な課題を把握、その解決策を住民自らが考え実践していくことを目的に展開されています。

点検は、地区センター職員が直接集落に向き、人口・世帯の動向、医療・福祉サービスや生活物資の調達などの状況、集

落内の支え合いの状況、農地・山林などの管理状況、地域資源・他集落との協力などについて住民と意見交換をしながら調査しています。この結果を基礎として各集落の課題解決につなげていくことが重要と考えます。

今後、確実に進行する高齢化などで「集落力」の維持は厳しくなると予想されますが、この取り組みが活性化の基盤となり有効に機能することを期待します。



▲ 真剣に「集落力」をチェック

こぶし苑開所20周年記念行事



▲ くす玉を割り、20周年を祝う目黒町長ら

只見町介護老人保健施設「こぶし苑」が開所20周年を迎え、7月1日に同施設で記念行事が行われました。はじめに、職員手づくりのくす玉が準備され、目黒町長、高柳施設長、入所者代表、介護アドバイザーの青山幸広氏が盛大にくす玉を割ると中からは一文字ずつ分担し入所者の方が直筆された垂れ

幕が現れ、会場は拍手と歓声につつまれました。

昼食には20周年を祝い特製の「お祝膳」が用意され、入所者の方と職員が一緒になり、目黒町長も同席し、いつもと違うご馳走に少々驚きながらも嬉しそうに食べました。

午後はカラオケ大会が開かれ、入所者、職員、介護アドバイザー青山幸広氏が趣向を凝らした衣装で、自慢の歌声や踊りを披露しました。笑いあり、涙ありの楽しいひとときを過ごしました。

国際レベルの心肺蘇生法を学ぶ



7月4日、5日の2日間、AHA（アメリカ心臓協会）主催による「BLSヘルスケアプロ

バイダーコース（G2005）研修」が只見地区センターで行われ、朝日診療所、保健福祉センター、南会津広域消防署、こぶし苑、只見ホームなどの職員50名が受講しました。

研修は「成人、小児乳児までのあらゆる年代に対する一次救命処置」「気道異物の除去」「AEDの使用」について講義や実技指導があり、受講者は緊張しながら真剣に学びました。

受講者全員がこの国際資格を取得しました。

日食を見て川辺で遊ぼう！ 夏休み子どもイベント・第一弾

町内の小学生30名が参加し、夏休みのイベントが7月22日に黒谷川の川辺で行われました。

イベントでは、講師に川俣恵美先生（只見中教諭）を迎え、日本の陸地では6年ぶりとなる日食を観察、さらに川辺の生物や水中の魚なども観察しました。川俣先生の指導により専用のサングラスで日食を確認し

た参加者は、初めて目にした珍しい現象に驚きと感動で我を忘れ夢中で太陽に注目していました。

昼食は、みんなで焼肉を食べ、午後は川遊びを存分に楽しみました。最後に反省会が行われ解散となりました。

夏休みになり間もないイベントでしたが、この貴重な一日は忘れることのない思い出となったことでしょう。



▲「まだかな～」

教育委員に辞令交付



6月定例議会において教育委員の選任について同意がなされました。新教育委員には、6月30日付けで馬場都美さん（49歳・梁取）が就任しました。

馬場さんの任期は、平成21年6月30日から平成25年6月29日までとなります。

就任にあたって馬場さんは、「保護者の立場で意見を述べ、只見町の教育発展のために尽くしたいと思います」と抱負を話されました。

人権擁護委員に藤田節子さん



平成21年7月1日付けで藤田節子さん（只見）が、只見町担当の人権擁護委員として法務大臣の委嘱を受けました。

人権擁護委員は全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行います。住民の皆さんにとって、人権に関する一番身近な相談相手となる人です。

只見町では、藤田さんのほかに川原田紹二さん（小林）、菅家達朗さん（黒谷）も人権擁護委員の委嘱を受けて活動しています。

保護司に目黒芳雄さん



平成21年6月1日付けで目黒芳雄さん（只見）が、只見町担当の保護司として法務大臣の委嘱を受けました。

保護司は犯罪や非行に陥った人の更生の支援や、犯罪予防の啓発などを使命とし活動します。

また、保護司として活動された吉津英世さん（長浜）が任期満了により退任されました。長い間ありがとうございました。

県民スポーツ只見町予選大会

体力の向上と社会体育の振興を目的に7月12日、第62回福島県総合体育大会県民スポーツ大会只見町予選大会が町下グラウンドと町民体育館を会場に開催されました。成績は次のとおりです。

▼ 壮年ソフトボール

- ①朝日 ②只見 ③明和
- 最優秀選手・渡部理一（朝日）**
- 優秀選手・鈴木嘉津雄（只見）
- 敢闘賞・山内孝志（明和）
- 特別賞・鈴木厚（只見）

▼ 家庭バレーボール

- ①只見 ②朝日
- 最優秀選手・鈴木真紀（只見）**
- 優秀選手・渡部弥（朝日）
- 特別賞・飯塚千代江（只見）

（敬称略）



▲ 元気いっぱい大きな声で・・・メッセージ練習

3 町内保育所交流保育 地区の年長児が集まりふれあい深める

明和保育所で7月22日に交流保育が行われ、集まった年長児37名は元気に朝の体操で体をほぐした後、町制施行50周年記念式典の際に披露するメッセージや只見音頭に合わせた踊りの合同練習を一生懸命行いました。最後にみんなでプールに入り色々な水遊びで楽しくふれあい、交流を深めました。記念式典では、かわいらしい姿が見られそうです。



▼ 普段は顔を合わせないお友達とも仲良く水遊び



▲ 自分で作った最高のお守りを手にする参加者

古 勾玉づくり講座 代の首飾りづくりに挑戦!

会津只見考古館では、夏休み特別企画として7月24～26日の3日間、勾玉づくり講座を開き約60名の参加者が勾玉づくりを体験しました。ホワイトやピンクなど、3色の石から好きなものを選び、親子で協力しながら、また友達同士で出来具合を見せ合いながら、思い思いの形に仕上げていました。勾玉は魔よけや幸運のお守りとも言われ、きれいに磨いた勾玉を大切に持ち帰りました。

小 交通安全テント村作戦 学生児童による交通少年団が呼びかけ

7月21日、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環として、町内を走行する自動車の運転手に交通安全を呼びかけるテント村が今年も行われました。

只見地区は館ノ川、朝日地区は長浜、明和地区は小林のいずれも国道289号線沿いにテントを設営、各地区の交通安全協会、交通安全母の会、交通少年団が、手づくりの折鶴やキーホルダーなどを手渡し安全運転をお願いしました。



▲ ドライバーに呼びかける交通少年団（館ノ川）



▲ 楽しく汗を流す木戸慶子さんと参加者

健康づくりに3B体操 楽しくリズムカルに体を動かささわやかな汗

3B体操クラブでは、講師に木戸慶子さんを迎え定期的に3B体操で汗を流しています。軽快な音楽に合わせてリズムカルに体を動かすと心拍数も上昇し健康的でしなやかな体づくりに効果がある体操に参加者は一生懸命取り組んでいました。

なお、クラブの皆さんは9月に町下町民体育館で行われる「ふくしまスポーツフェスタ2009」の3B体操部門に参加される予定です。

あおぞらフリーマーケット 地域の交流ふれあいの場

第4回あおぞらフリーマーケットが、7月5日に最高の青空のもと、明和地区センター駐車場で行われました。午前10時から約2時間程度の短い時間でしたが、大勢の来場者と出店者との巧みな会話のやりとりに会場は賑わいを見せていました。

次回は、秋に開催が予定されています。



▲ 真剣に品定めをする来場者

川遊び教室 自然とふれあい川の大切さ学ぶ

朝日小学校では、自然への興味や関心を高め川の大切さを学ぶことを目的に、川遊び教室を7月14日に黒谷川で行いました。児童86名が水着に着替えグループで箱メガネを手にし、水中の生物や魚を観察しながら川の環境を自分なりに学んでいました。歓声と共に「カジカ」を捕まえた児童は嬉しそうに先生に見せていました。この日は魚のつかみ取りもあり、友達と協力しながら夢中で魚を追いかけている姿が印象的でした。



▲ 黒谷川は自然を学ぶ最高の教科書



▲ ラフティングの醍醐味を体感する参加者

伊南川ラフティング体験 楽しく、時には激しく川下り

7月19日に小川橋上流から樋戸橋までの伊南川でラフティング体験が行われ、大勢の参加者が川下りを楽しく体験しました。専用のゴムボートにオールを持ち、乗り込んだ参加者は川の波をバランス良く乗り越え、普段の生活では見ることのない川からの景色を眺めながら、只見の夏を涼しげに過ごしていました。これは、ただみコミュニティークラブの主催で行われました。

〈まずは、ご相談を〉

○児童扶養手当 ～母と子どものしあわせのために～

児童扶養手当は、父と生計を同じくしていない児童が育てられている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母や母にかわってその児童を養育している人に支給されます。父と生計を同じくしていても、父の心身に一定の障がいがある場合には支給されます。

【受給資格者】

十八歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある(心身に障がいのあるときは二十歳未満)児童を監護している母又は母にかわってその児童を養育している人。

- ① 父母が離婚した後、父と生計を同じくしていない児童
- ② 父が死亡した児童(公的年金を受けることができる場合除く)
- ③ 父が一定の障がいの状態にある児童
- ④ 父の生死が明らかでない児童
- ⑤ 父が引き続き一年以上遺棄している児童
- ⑥ 父が法令により引き続き一年以上拘禁されている児童
- ⑦ 母が婚姻によらないで生まれた児童(未婚の母の子)
- ⑧ 孤児などで、父母がいるのか否か不明の児童

【手当の額】

全部支給 41,720円

一部支給 9,850～41,710円

※ 一部支給は所得に応じて、10円単位で計算されます。

【支給制限】

受給資格者及びその生計を同じくする扶養義務者等の前年の所得が限度額以上ある場合は、手当の全部又は一部が支給停止されます。

なお、平成二十年四月より児童扶養手当を受けてから五年を経過するなどの要件に該当する方には、期間が満了する月の二ヶ月前に町から「重要なお知らせ」などが郵送されます。これまで同様に手当を受給するためには、関係書類を提出期限までに提出する必要があります。



○特別児童扶養手当 ～障がいのあるお子さんのために～

身体又は精神に障がいのある児童を監護又は養育している人に支給されます。

【受給資格者】

身体又は精神に中度または重度の障がいを有する二十歳未満の児童を監護している父もしくは母、又は父母にかわって児童を養育している人。

申請方法等、詳しくは保健福祉課福祉班へお問い合わせ下さい。

電話 0241(84)7010

広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 星野弘尊

7月頃より、診療所にもハチ刺されの患者が頻りに訪れるようになっていきます。そこで今回は、ハチ刺され(ハチ刺傷)について知っていただこうと思います。

ハチ刺傷で問題になるのはアシナガバチ、スズメバチ、ミツバチ、マルハナバチの約20種です。ハチに刺された場合、その症状には、ハチ毒による直接作用とアレルギー反応があります。直接作用とはハチの毒の作用で何れ所も同時に刺され注入量が多い場合、全身症状が出現し、死亡することがあります。一方、アレルギー反応はハチ毒の注入量にかかわらず起り、ハチ刺傷での死亡は大部分がアナフィラキシー反応によるものです。

症状は、通常、疼痛、腫脹、紅斑であり、痛みは数時間～1日で消失し、かゆみを伴う硬結を残します。注入量が多い場合やアナフィラキシー反応(数分～十数分以内)、遅延反応(2日～14日後)では全身症状が出現します。全身症状で特に注意が必要なのは、呼吸困難、血圧低下(著明な発汗、眼前暗黒感、ふらつき)、蕁麻疹であり、出現した場合は、早急に最寄りの医療機関を受診してください。

現場でできる処置として、針が残る場合は除去してください。この時、つまむと毒液を注入することになるので、爪ではじき飛ばすようにしましょう。毒を吸い出す

という行為はほとんど意味がありませんのでやめましょう。また抗ヒスタミン軟膏を塗布し、冷やしてください。(大切なので2回目ですが)全身状態が出現したら、速やかに医療機関を受診しましょう。ただし、ハチ刺傷でこれまでに具合が悪くなったことがある場合、症状がなくても刺傷直後であれば、医療機関を受診してください。

ですが、一番大切なのはハチに刺されないことでしょう。そのためにどうしたらよいか具体的に述べておきます。

- 蜂の巣に近づかない
- 家屋内に営巣させないよう穴をふさぐ
- 肌に着る衣服を用い、服の下に蜂が入らないようにする
- 白っぽい服を着る(花模様や黒い服をさける)
- 芳香のある化粧品は避ける
- 戸外で甘味物の飲食をしない
- 自動車の窓を開け放しにしない

- 蜂のいるところで立ち止まらない
- 洗濯物を取り入れるときは蜂をまぎれ込ませないように注意する
- 不用意に藪の中に入らない、見張りの蜂をみかけたら、その巣が近いので注意する
- これらのことに注意して、夏を乗り切ってください。

今月号から、東洋大学講師の久野俊彦先生の連載がはじまります。久野先生は、民俗学の立場から寺社縁起や古典籍の研究をしており、『偽文書学入門』という本を刊行されました。「偽文書」とは成立や内容に信ぴょう性がうすい文書のことです。これまでの歴史学では、巻物や家系図も偽文書として研究の対象から外されてきましたが、久野先生はそれらが成立した理由や、伝存してきた意味を研究し解明しようとしています。只見町の古典籍や古文書を題材に6回にわたり執筆していただきます。

楮戸龍藏院の蔵書

只見町大字楮戸の山崎行弘氏宅は、江戸時代は龍藏院といいい、本山派修験道に属していました。同家には龍藏院の須弥壇と本尊不動明王が残されています。龍藏院はホウイン（法印）と呼ばれた修験寺院を数箇寺取りまとめる谷老僧をつとめました。京都の本山聖護院からの伝達は、会津若松の大先達南岳院、田島（南会津町）の小先達南照寺を経て、龍藏院に達しました。龍藏院のホウインもたびたび京都におもむいて修行や修学に励みました。そのため、龍藏院には多量の書籍が集められたのです。近年、龍藏院の蔵書が只見町に寄贈され、本格的な書籍の調査が始まりました。筆者はその撮影調査と目録作成をしているところです。蔵書は、修験道や呪術をはじめ、仏教・神道・陰陽道などの諸宗教にわたり、和歌・物語・説話集などの文学作品も含んでいます。修験道の法印の具体的な宗教活動や文化活

動を知る絶好の資料です。書籍の年代は戦国時代末期から江戸時代前期・中期のものが多く、京都の大寺院の蔵書にも匹敵する貴重なものが含まれています。この地にこうした質の高い文化が確実に根づいていたことは、地方文化を見直す点において、日本文化史上の重要な発見です。この書籍が今日まで災害にあわずにきた幸運もありますが、伝存してこられた龍藏院山崎家の代々の方々に敬意と感謝を表したいと思います。



楮戸山崎家の「伊勢物語註抜書」

伊勢物語注釈書の古写本

龍藏院の書籍の中から、今回は『伊勢物語註抜書』を紹介いたします。『伊勢物語』は平安時代初期に成立した和歌物語で、在原業平が主人公とされています。「唐衣きつつなれにし」の歌の「東くだり」の段で知られています。龍藏院にはその注釈書である『伊勢物語註抜書』があります。これは雁皮紙に書かれた写本で、室町時代末期の書写と推測されます。写真の冒頭を読んでみましょう。仮名には漢字と濁点を付し、部分訳してみました。

春日野、若むらさきのすり衣忍ぶのみだれかぎりしられず。このうたは、むかし男、ならの京春日の里にしるよしして、かりにいにけり。其さとに、いなまめいたる女はらからすみけり。このをとこ、かいまみておほほす。ふるさとにいとほしくたなくてありければ、こゝろまどひにけり。おとこのきたりけり。たをかきてやる。そのおとこ、しのぶずりのかりぎぬをなんきたりける。みちのくのしのぶもぢずりたれゆへに、みだれそめにし我ならなくに。とゆふうたのこゝろはえなり。むかし人は、かくいちはやきみやびをなんしける。是はふるきうたなるを、彼のためをとこ、こゝにとりあわせて返しけんとなんしけるなり。これは『伊勢物語』の第一段ですが、文末の「是はふるきうた」以下は一般の『伊勢物語』にはなく、注釈の言葉が本文に入り込んだものです。修験道では、呪いに和歌を多く用いるため、呪術書には和歌がたくさん書かれ、和歌や物語の知識が必要でした。和歌や物語の注釈書から得た知識と教養を持って、ホウインが村人に呪術や説教を行っていました。村人はホウインによって文化的影響を受けたと考えられます。奥州の山間地に和歌や物語が根づいて社会的に機能し、その古写本が存在していたことは、日本文学史の盲点であり、今後の研究が待たれます。



町民文芸

只見短歌会

六月詠草

大塚栄一

指導

母の看取り一段落して帰る朝に柿の若葉の広がり眩し

古川 英子

妹の孫の出店のイベントに誘はれ薔薇の公園めぐる

五十嵐英子

思ひ出の写真に見入る雨の午後年重ね来し過ぎゆき偲ぶ

吉津 政枝

年長く農に生き来て節くれし手に指輪など不似合ひとなる

馬場 八智

バイク免許更新せんかと迷へども老齡者講習の申込みなす

渡部ゆき子

自衛隊に入りし孫が教育長賞貰ひしメールを繰り返し見つ

五十嵐夏美

亡き義父が手彫りをしたる六地藏に触れば石の温もりのあり

目黒 富子

姉逝きし冬の終りて木蓮の花は咲きたれど常より小さし

皆川 恒子

浴道に二種の向日葵植ゑたれば大小ありて花咲くを待つ

渡部ヨリ子

昨夜より吹き荒るる風仕入れ来し信濃つつじに容赦もあらず

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

宇多喜代子先生をお迎えして

目黒十一

指導

夏の夕まだ大丈夫と子等は外
さみだるる音や一人の部屋さびし

都

恒夫

ドア開いて汗の匂いのどつと入る
父の日や男が二人酒を酌む

一穂

吉児

ジャンパーの色はブルーよ夏来たる
風に乗るジャスマシンの香や子の住まい

敦子

隆堂

ゆっくりとトマトハウスへ夏帽子
余念なく古巣修理の夏つばめ

郁子

邦夫

夏草や水音遠しはせをの碑
田子倉湖ぐるつと青嵐かな

礼

康女

またひとつ更地になりてくずの庭
夏草や神社清水にコップあり

修一

笑羊

会うことのなからむ友へ夏見舞
夏の山リーダーらしき身拵え

一灯

リウコ

灯さるるキャンドルナイトや風涼し
屋根替の足場組まれる薯の花

邦男

十一

父の日や父への便り母も読み
一瞬の光雲裂くはたたがみ

又壺歩

喜代子

奥会津奥へ奥へと立葵
夏草の高き低きに水の音

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-8120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
	☎84-2101
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

RECRUITMENT

募集

平成21年度科目等履修生及び研究生

会津大学短期大学部では、次により平成21年度科目等履修生及び研究生を募集します。

●履修・研究内容

産業情報(経営・デザイン)、食物栄養、社会福祉、教養基礎に関する科目又は内容

●履修期間

半年

●研究期間

1年以内(研究生)

●募集人員

若干名

●受付期間

平成21年8月31日(月)

9月4日(金)

●選考日時(科目等履修生)

平成21年9月11日(金) 午前10時から本学で行う

●選考方法

書類審査・面接(科目等履修生) 書類審査(研究生)

▼問い合わせ

会津大学短期大学部 事務室
☎0242-3712301
ホームページ
<http://www.jc.u-aizu.ac.jp>

安全で安心な 県づくり活動標語

安全で安心な県づくりを進めることがイメージできる標語を募集します。

●応募資格

福島県内在住者

●応募上の注意

- 20字以内とし作成意図も記載のこと
- 未発表作品に限る
- 1人1作品とする
- 住所・氏名(ふりがな)・年齢・職業(学生等の場合は学校名と学年)・電話番号を明記のこと

●応募締切

9月25日(金)まで

●表彰・副賞

最優秀賞1点(3万円又は図書券)・優秀賞3点(各1万円又は図書券)を選考し表彰

▼問い合わせ

福島県庁総合安全管理課
☎024-52117303
ホームページは「総合安全管理室」で検索ください。

LIFE

生活

合同企業面接会 (参加無料)

●参加対象 仕事を探している一般求職者(新規卒者は除く)

●参加企業 福島県内に就業場所又は営業拠点があり中途採用予定のある事業所

●実施内容

- 12時30分～13時頃
- 面接会でのアピールの仕方
- 企業が中途採用者に求める人材像など

●合同企業面接会

①採用担当者による会社概要説明・個別面談

②公共職業安定所などによる職業相談

税 今月の納期

- 8月25日までに納めましょう
- 町県民税(2期)
 - 国民健康保険税(2期)
 - 農集排使用料(8月分)
 - 介護保険料(2期)
 - 長寿医療保険料(1期)

●備考

- 履歴書を持参ください。事業所より求められることがあります。
- この就職セミナー及び合同企業面接会への参加は失業認定の対象となる求職活動に認定されます。
- ジョブ・カード制度の説明

●開催場所

- 郡山「ビッグパレットふくしま」
8月27日(木)
白河「ホテルサンルート白河」
9月2日(水)
福島「福島グリーンパレス」
9月8日(火)
須賀川「ベル・クイーンズ」
9月11日(金)

▼問い合わせ

ふくしま地域共同就職支援センター
☎024-973-5292

生活

県民運動
推進大会

福島県では、県民運動「10年後も...いきいき・ふくしま・うつくしま」推進大会を開催します。地域での実践活動紹介や、元NHKアナウンサー堀尾正明氏による地域のきずなの大切さについての講演を行います。入場は無料ですが、事前申し込みが必要です。

●日時 8月26日(水)
午後1時30分～4時

●場所 会津大学講堂
(会津若松市一箕町)

●申し込み

ホームページ掲載の申込書または、住所・氏名・年齢・電話番号・参加人数を明記した書面を、電子メール、ファクス、または郵送でお送りください。

●申込期限

8月14日(金)必着

▼問い合わせ
福島県庁文化振興課

☎024-521-7179
FAX 024-521-5677
ホームページは「いきいきふくしま うつくしま」で検索ください。

職場の労使
困りごと相談会

福島県と福島県労働委員会では、賃金や労働条件をめぐる労使間の困りごとについて無料出張相談会(秘密厳守)を行います。

●日時

10月4日(日)
午前10時～午後3時

●場所

会津若松市勤労青少年ホーム

▼問い合わせ

福島県労働委員会事務局
☎024-521-7594

ふくしまスポーツフェスタ2009

キンボール

inみなみあいづ

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 期日 | 平成21年9月19日(土) |
| 2 | 会場 | 只見小学校体育館 |
| 3 | 日程 | 9:00 受付
9:30 準備運動・リードアップゲーム
10:00～11:50 ルール説明・ゲーム |
| 4 | 競技方法 | 競技ルールは、国際ルール(2007年7月改正)を適用する。但し、一部ローカルルールを適用する。また体験コーナーも設置します。基本のルール説明やヒットの練習などを行います。初めての方でも安全に楽しむことができます。 |
| 5 | 表彰 | 第1位から第3位まで表彰します。参加賞・特別賞もあります。 |
| 6 | 参加資格 | どなたでも参加できます。ゲームは1チーム4人で行いますので、4～6人1チームでお申込みください。個人参加もOKです。(主催者側でチームを編成し参加していただきます) |
| 7 | 参加料 | 1チーム2,000円
(個人参加の場合は1人500円) |
| 8 | 申込締切 | 9月15日(火) ※当日申込みも可です。 |

3B体操

- | | | |
|---|------|-------------------------------|
| 1 | 期日 | 平成21年9月19日(土) |
| 2 | 会場 | 町下町民体育館 |
| 3 | 日程 | 13:00 受付 13:30 開会
15:30 終了 |
| 4 | 内容 | 用具を使いながら、初心者でも無理なく楽しく運動できます。 |
| 5 | 参加資格 | 幼児から高齢者までどなたでも |
| 6 | 参加料 | 1人500円 ※体験参加(一般参加)は無料 |
| 7 | 申込方法 | 当日受付(ただし、受講生はサークル教室ごとに事前申込み) |
- 【問い合わせ】 只見町教育委員会事務局
☎0241-82-5320

町長室日誌

〈7月分〉

- | | |
|-----|--|
| 1日 | 社会を明るくする運動関係で保護司山岸氏及び目黒氏来庁、こぶし苑20周年記念式典及び昼食会 |
| 3日 | 南会津地方振興局長来庁、ローカルマニフェストフォーラム |
| 4日 | 極上の会津プロジェクト「この夏も会津へ2009キャンペーン」決起大会 |
| 6日 | 只見町土地改良区理事会・総代会 |
| 7日 | 南会津地方広域市町村圏組合管理者及び事務局長来庁 |
| 8日 | 滝調整池堆砂対策連絡協議会事前打合せ会
第1回只見川電源流域振興計画策定委員会 |
| 9日 | 国道289号線建設期成同盟会会長・副会長会議 |
| 10日 | 会津総合開発協議会「会津を拓く最重要事項」に基づく国等出先機関要望会 |
| 12日 | 健康なまちづくり講演会 |
| 13日 | 庁議 |
| 14日 | 会津地方振興局部長来庁 |
| 15日 | 50周年記念事業「子ども議会」開催、南会津建設事務所長来庁 |
| 16日 | 第60回南会津地方町村議会議員大会 |
| 18日 | 第24回からむし織の里フェア |
| 21日 | 福島県砂防協会・福島県治水協会役員会通常総会 |
| 22日 | 県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会
只見地区センター運営に係る懇談会
只見町公認自然インストラクター認定審査会 |
| 23日 | 水の郷まつり実行委員会
只見町・金山町・昭和村消防相互応援協定打合せ会議 |
| 24日 | 三島町商工課長来庁教育委員との懇談会 |
| 25日 | 第32回柏まつり |
| 27日 | 長岡こぶし園視察 |
| 28日 | 只見町土地改良区第3回理事会 |
| 29日 | 八十里越地点開発促進期成同盟会総会 |
| 30日 | 八十里越地点開発促進期成同盟会入叶津現地調査
会津計算センター来庁 |
| 31日 | 社会福祉協議会理事との懇談会 |

町民の消息

(7月1日～7月31日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

山内 丈大 (男/喜 伸・真理) 梁取

■ご結婚おめでとうございます

只 見 渡部 敦 ♡ あゆみ
(旧姓: 吉津 会津若松市)

■おくやみ申し上げます

星 正 衛	77	小 林
馬 場 健 一	84	塩ノ岐
目 黒 千 代	41	福 井
五十嵐 清 子	100	八木沢
鈴 木 トクヨ	101	黒 谷
尾 形 テ ル	80	黒 谷

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成21年7月1日現在

人 口	5, 047	(-6)
男	2, 403	(-3)
女	2, 644	(-3)
世帯数	1, 898	(+2)
高齢化率	41. 2%	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 6 転出 4 出生 3 死亡 11

▽8月1日に50歳を迎えた只見町では様々な催しが行われました。湯ら里では記念式典、各地区センター周辺では「のろし」、只見川公園では水の郷まつり。そして、夕方から夜にかけてはキャンドルナイトに花火大会と只見町の特別な一日は瞬く間に幕を閉じました。▽この記念すべき一日を只見で過ごし、家族と祝い合えたことに感謝したいと思います。▽この後も記念行事は行われます。コンサートやごはんまつりなど。皆さんの参加で50周年を盛り上げましょう。

あとがき

まちづくり推進員
若林 奈津子

朝日地区センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★奥会津三泣き 因習の殺意



著/相場 秀雄(小学館文庫)

この本は図書利用者から希望があり購入しました。

田子倉ダムで他殺体が発見され、事件に関心を持った会津若松支局の新聞記者宮沢賢一郎が事件を解きます。事件背景に会津人の気質もとりあげられており、興味を持って読める本だと思います。実在する地名を使っている分ありえない記述もありますが、推理小説として十分楽しめますので、ぜひ手にとり確かめてください。

★雨の日も、晴れ男



著/水野 敬也(文春文庫)

「夢をかなえるゾウ」の著者が、2005年に発表した「BAD LUCK」を文庫化するにあたり、題名を変えたものです。

主人公のアレックスは、同僚からいやがらせを受けても、リストラされても、他人から殴られても、詐欺にあっても、妻が子どもを連れて出て行っても・・・、ありえないほどのプラス思考で受け入れます。心を締め付けられるような感動部分もあり、とても楽しい本です。

★まさかさかさま



著/伊藤 文人 (サンマーク出版)

ロボットがへいたい、うさぎはエイリアンに、ライオンは何になる？

本をまさかさまにするともうひとつの絵が現われます。ふたつの絵をちゃんとみつけられるかな？

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

町民憲章

- ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

なつまつり



※この広報紙は再生紙を使用しています

只見の夏祭りといえば「水の郷まつり」。イベントは毎年大勢の参加者で賑わいを見せる。中でも人気なのは「カブトムシ競走」今年も子どもたちの歓声がステージに響いた。時には予期せぬ出来事も…ゴール寸前ではねを広げたカブトムシは、気持ちよさそうに飛び去っていった。

イベントカレンダー

8月

- 8、9日(土・日)
「風っこ会津只見号運行」
会津若松―只見1日1往復

9月

- 6日(日)
「只見駅前通りウキウキ
わいわいフェスタ」

10月

- 10、11、12日(土・日・祝)
「風っこ会津只見号運行」
会津若松―只見1日1往復
- 11日(日)
「第47回只見町駅伝競走大会」
- 31日～11月3日まで
「SL会津只見号運行(予定)」
会津若松―只見1日1往復

- ▼ 毎週日曜日午前8時30分より、ひんのめえ市を開催。旬の野菜を販売しています。皆さんも出品してみませんか。詳しくは、お問い合わせください。
- ▼ お問い合わせ
只見町観光まちづくり協会
0241-821-5250

☎ 営業時間 午前8時半～午後6時



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています